

「就職難の今、うちは全員、職を得た！」

— 失業中の貧しい家族、“桃アレルギー”を“結核”に仕立てて富豪宅に寄生したが…。

映画・健康エッセイスト こもり 小守ケイ

韓国貧民地区の半地下アパート。キム一家4人は失業中で、ピザ箱組立の内職の日々。或る日、長男ギウの友達が訪ねて来る。「俺の留学中、IT企業のパク社長の娘の高校生ダへに英語家庭教師を頼むよ」。浪人のギウは躊躇うも背に腹は代えられず、美術やPCが得意な妹に学生証を偽造して貰う。

家庭教師や運転手として パク家に就職!

「合格させます」。高台の高級住宅街。夫人やダへに大言を吐き週3回の職を得たギウ、壁の絵を「天才的」と褒めると、夫人が「小学生の息子ダソンの絵よ。彼に美術の先生を」。早速ギウは妹を応用美術研究者と偽り、「人気の美術教師です」。

「ダソンに絵画療法も」。ネットの知識で言葉巧みに取り入った妹、無事に採用されると“父の職”も謀り、乗せて貰った社長用ベンツに下着を隠し、運転手の悪行を疑わせ解雇させる!「運転手はベテランが安心です」。

次は“母の職”だが、ダへから“家政婦の桃アレルギー”を聞いたギウ、妹と“家政婦解雇作戦”へ!桃の皮の毛を集めて背後から掛けると、家政婦は激しく咳き込み呼吸困難に!「これでOK!」。兄妹は父の役割も決めてリハーサルも…。

「結核患者が料理?唾も飛ぶのに…」

「病院で家政婦さんが“活動性結核”と電話していた…」父の言葉に蒼褪めた夫人、「クビに!誰か、ご存じ?」。父は作戦通り高級人材派遣会

社の名刺を出し、妹が電話口で「ぴったりの方が」。こうして母もパク家の家政婦に。

ダソンの誕生日。社長一家がキャンプに出ると、キム家4人は豪邸で勝手放題の家族宴会!そこに現れたのは前家政婦!「地下に忘れ物を」。慌てて父ら3人が隠れる中、彼女は台所奥の隠し戸を開け、母に「実は“秘密の地下室”—前家主が北の攻撃に備え密かに作り、彼女は当時から勤務し知っている—に夫が借金取りから3年隠れている」。その時、潜んでいた父ら3人が階段から落下!「貴方達、家族?社長を騙したね」。咄嗟にスマホで4人を撮った彼女、「奥様に送信する」と脅すや新旧家政婦のスマホ争奪戦に!すると、妹が桃を彼女に押し付け咳き込ませ、その間にギウが画像を消去!しかし、丁度その

時、夫人から電話!「大雨でキャンプ中止、あと7分で帰宅よ」。母は速攻で家を片付け、父は前家政婦夫婦を地下室に縛り付け、兄妹と共に大雨で下水も溢れ込む半地下へ帰宅した。

この家を買って、父を救い出したい…

好天の翌日はパク家の広い庭でパーティ。母はBBQの準備、父は買い物の運転、ギウと妹は招待される。ギウが密かに地下室の前家政婦夫婦を見に行くと、夫グンセに殴られ大怪我を!その後グンセは台所で包丁を取り、パーティに乱入、妹を刺す!すると母がBBQ串でグンセを刺し、それを見たダソンは失神!社長は父に「ダソンを病院へ!」と命じるも、父は妹の側を離れ



©2019 CJ ENM CORPORATION, BARUNSON E&A ALL RIGHTS RESERVED/CJ エンタテインメント・ジャパン©2001-2011 flag Co.,Ltd.All rights reserved 配給:ピタース・エンド
写真:パク家の4人を取り囲むキム家の4人

映画「パラサイト 半地下の家族」

ポン・ジュノ監督、2019年、韓国

ず、車の鍵を取りに来た社長が、グンセと自分の“貧民の匂い”に顔を背ける様を見るや、グンセの手の包丁を奪い社長を刺し、そのまま消えた…。

数か月後。妹は死んだが、怪我の治ったギウがパク家近くの丘に行くと、台所の灯りが点滅中！それは“秘密の地下室”からの父のモールス信号！「私は元気だ…」。

Cinema View

韓国初のアカデミー賞4冠（作品賞他）やカンヌ映画祭最高賞など世界の映画賞を総なめした悲喜劇！先が読めない展開、ブラックな笑い、派手なアクションで観客の目を奪いながら今日の格差社会を鋭く問う。主演は韓国を代表する実力派ソン・ガンホ（キム家の父）で、22年には是枝裕和監督「ベイビー・ブローカー」でカンヌ映画祭最優秀男優賞に輝いた！



桃などの食物でも起こるアナフィラキシー

アナフィラキシーはアレルギー反応の一つで即時型とされ、原因物質に触れた後数分から数時間以内に発疹や紅潮などの皮膚症状、咽頭浮腫や気道狭窄、呼吸困難などの呼吸器症状、血圧の低下や頻脈などの循環器症状、腹痛などの消化器症状を起こす。

症状は唇の腫れ、喉のヒリヒリ感、蕁麻疹やかゆみ、鼻汁程度の軽症から、全身の発疹・浮腫、喘鳴、呼吸困難、血圧低下などショック症状を呈する重症まであり、重篤な場合は死亡することもある。

食物によるアナフィラキシーは卵、牛乳、小麦が三大原因といわれるが、他にもソバや、エビ・カニ、果物、ナッツ類などでも起こり、果物では桃、キウイ、バナナなどで生じる。アナフィラキシーは、食物に含まれるタンパクがアレルゲンとなり、それに過剰に反応することで起こる。

食物アナフィラキシーの発症に花粉が関係していることがあり、花粉・食物アレルギーと呼ばれている。ハンノキや白樺などの花粉症がある人が、桃、梨、りんごなどのバラ科の果物を食べると交差反応によりアナフィラキシーを起こすことがある。

アナフィラキシーショックを起こしたら直ちにエピペンと呼ばれるエピネフリン注射を行い、症状を緩和させた後、速やかに病院で治療を受けなければならない。軽症でもアナフィラキシーを起こした経験があれば、常時エピペンを携帯する必要がある。

監修

公益財団法人
結核予防会 理事
総合健診推進センター 所長

みや ざき しげる
宮 崎 滋